

第11号

市小公連だより



筑紫野市小地区公民館連絡協議会

■発行元 筑紫野市小公連事務局

■☎818-0057 福岡県筑紫野市二日市南 1-9-3

■発行責任者 会長 森田 陽子

生涯学習センター内 ☎092-918-3535

が「郷土愛に燃える人づくり・まちづくり」になると確信します。

あり「まちづくり」であると思っ

います。みんな、力を合わせて、

あせらず、できることから、しっか

りと公民館活動を推進していくこと

が「郷土愛に燃える人づくり・まち

づくり」になると確信します。

山口地区小地区公民館連絡協議会

は、本年度から二日市東校区と分か

れ山口校区の6行政区の公民館で組

織されることになりました。

今、山口校区の公民館は地域コミ

ュニティづくりや行政区ごとの諸活

動により非常に多忙化しています。

今まで実施してきた各行政区ごとの

親睦・交流や伝統行事に併せて、地

域コミュニティの行事も積極的に進

行われるようになり、役員の負担も増加

しています。

新たなコミュニティ事業も校区全

体で考えられた地域課題解決の取り

組みであり非常に重要であると思っ

ています。それぞれの事業の目的や

必要性をみんなで考え、無理がない

ように「調整・選択」していくこと

が必要だと思います。

市民ニーズに沿った、必要とされ

る事業を、地域のみならず、実

践する。この市民ニーズに沿った活

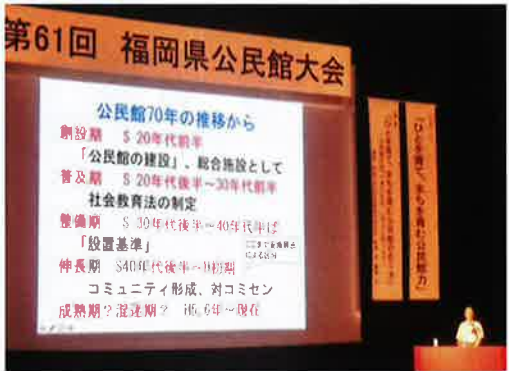
動こそが、「コミュニティづくり」で



代表理事
中川 慎一

【役員のことば】山口地区小公連会長
平等寺公民館長

市小公連の活動報告



久留米シティプラザ
(21名参加)

第61回大会テーマ 8月10日

『ひとを育て、まちを育む公民館力』

(講師 秋田大学大学院教育学研究科
教授 原義彦先生) に参加して...

第一部のインタビュアー・ダイアロー

グでのパネラーの発表を聞く限り、筑

紫野市のコミュニティ(公民館)活動は

随分と先んじていると感じたもの

我々自治公民館の担い手(役員)のな

り手が少ないと言う課題は何処も同じ

様に感じた。

第二部の原教授の講演からは本来の

公民館の機能である「学習支援機能」

「地域づくり支援機能」の為に人材

を如何に育て、又地域の活性化に繋

がる事業を如何に創りあげるかが、我々

公民館スタッフの永遠の課題である

う。北杉塚公民館主事 入山 義明

福岡県公民館大会

九州地区公民館研究大会

宮崎大会(宮崎観光ホテルその他)

- I 分科会：「青少年教育」青少年の健全育成と体験活動を推進する公民館活動の在り方に参加して、発表者①佐賀市立神野公民館：高校生が小学生にサッカー・書道・音楽・英会話・家庭(料理)・フェンシング・バレーボール等模範演技を必ず入れて教えて交流していることに感動いたしました。
- ②日向市HOSOSIMAまちづくり協議会：区の課題について区を越えた地域課題として捉え、その解決への取組も除々にはあるが出来始めている。「自分たちのまちは自分たちでつくる」という思いが年々浸透してきていると発表があり、筑紫野市コミュニティ構想において参考になったと思います。
- II アトラクション：パイプオルガン演奏をはじめ聴く人にも判りやすい説明があり音楽鑑賞のすばらしさを感じました。
- III 記念講演：落語家 桂 歌春
落語を通して、話す楽しみを体感してほしいとの思いに感心しました。 限公民館長 村岡 繁男



8月25~26日 17名参加

市小公連平成28年度推進大会

第42回大会テーマ「まちづくりの拠点としての公民館活動の活性化」

10月1日

～地域を育むひとづくり～

さんあいホール

研修会は、関福生氏(愛媛県新居浜市教育長)の講演「自治公民館こそ、地方創生の要」～活動を元気にさせるための10の提案～そして塔原公民館(二日市地区)、立明寺公民館(山口地区)、山家8区公民館(山家地区)から自治区の概要と公民館事業活動が発表され、その後、コーディネーター岩元馨子氏(福岡教育事務所社会教育主事)、コメンテーター関福生氏による「インタビューダイアログ」が行われた。関福生氏から、1. 小さな殻から抜け出してみよう 2. 熟議をやろう 3. 目標を定め、動こう 4. “志事”の機会をつくろう 5. 子ども・学校を巻き込む 6. 地域の誇りを磨こう 7. 断り上手などいらない 8. 遠慮せず、自慢しよう 9. 関係性を大事にしよう 10. 固定観念を捨てる、の提案がありました。

「インタビューダイアログ」での討議の一部を紹介します。

■塔原公民館は、「居住歴が長く年配者が多く住む西区と居住歴が短く若い人たちが多く住む東区とからなりたっているが信頼関係がいまひとつ」とありましたが七者懇(保育園・天拝小・二中・武蔵台高・福農・特別支援学校・地域)の連携により、人づくり、まちづくりを目指している。■立明寺公民館は「若いリーダーと女性リーダーが不足している」その対策に中学生を含めた若者を研修に参加させて将来有望なリーダーを育てる。■山家8区公民館は、「世帯数と人口ともに少数なのに、子ども会・いきいきサロンのすみれ会等の老若男女が一丸となって活動」素晴らしいことです。

公民館活動の成果は、ホワイエにおいて公民館毎に展示されました。様々な催しが実行され、その催しにたずさわった方々の表情、その催しに参加された方々の表情が写真に生き生きと映し出されていました。今年、日本各地において50年に1度といわれる大雨が降りました。熊本・大分地震による震災の教訓に対し、筑紫野市の各自治会においても公民館にて防災訓練が実施されています。訓練に参加される方は、「隣の家にも声をかける」を心がけては如何でしょうか。今年の大会宣言は「災害への対応として防災意識の向上と自主防災力を高めていきます」との一筋が掲げられている。

松原 英敏(山家中央区主事)



【大会宣言】

1. 人材育成、公民館の相互交流等を通じて公民館の活性化を図ります。
2. 家庭・学校・地域コミュニティ等との連携を図ります。
各地区小公連は、地域のコミュニティ活動に参画します。
3. 情報の発信と共有化を推進します。
4. 災害への対応として防災意識の向上と自主防災力を高めていきます。





平成28年度 夏祭り



松ヶ浦公民館

二日市地区



鳥居公民館



紫ヶ丘公民館

二日市東地区



山口地区

立明寺公民館



原公民館

御笠地区



天山公民館



筑紫南地区

隈公民館



山家地区公民館



第26回 筑紫駅前通 夏祭り大会

筑紫地区

筑紫駅前公民館



常松公民館

公民館紹介

(山家6区公民館)
住民の安全安心を
願って防災訓練



6区公民館は、旧200号線沿いに位置し公民館の横には、山家駐在所があり便利な場所にあります。いきいきサロンを始め、大正琴・太極拳・フラダンス等の活動がなされている。7月10日には、安全安心課の課長八尋氏を講師に迎え、防災に関するお話しを聞きながら、図上の訓練を行い約80名の住民参加のもとに、災害マップを各組毎にわいわい言いながら、危険箇所や高齢者の一人暮らしの家等を地図の上に印をつけ楽しい時間を過ごしました。森主事が各組をまとめ6区のハザードマップを作り上げ6区の公民館に置いていきます。図上訓練終了後、火災の時の避難訓練を行い組長さんに参加者の確認や、水消火器での消火訓練を行いました。これからも公民館が、住民の憩いの場になるよう気配りしていきたいと思えます。

山家6区公民館長 平嶋 人美

平成28年7月2日(土)生涯学習センター視聴覚室にて、各小地区公民館主事全員を対象に、今年度の市公連重点目標のひとつである「公民館における企画・運営のスキルアップ」を実現するために開催された。(参加者78名)

- 講師 北杉塚公民館主事 入山 義明氏
- 若葉中原公民館(中原)主事 中村 良三氏
- 山家中央区公民館主事 松原 英敏氏
- 生涯学習課社会教育主事 宮垣 郁子氏

■内容①各地区公民館主事連絡会の設立趣旨、実践的な活動発表等②今後の主事会設立に向けての討議、意見交換等
初めに、二日市地区(北杉塚公民館主事入山さん)より二公連主事会設立についてと、活動報告がありました。続いて、山口地区・山家地区の活動報告と今後の課題等が報告され、検討結果のまとめとして、ワールド・カフェ方式で、班に分かれ、研修内容と他地区の活動内容について、よいところ、困っているところ等を出し合い、討論しました。もつと他地区の話も聞きたかったのですが、時間が少なく残念でした。色々な意見を参考に公民館活動に努力していきたいと思えます。

本町公民館主事 村岡 廣

小地区公民館主事研修会



ワールド・カフェ方式で意見交換

市小地区公民館館長・主事等研修会

演題「多様な性 虹色の明日」

NPO法人 Rainbow

Sup理事 牧園 祐也氏

今年度の人権問題啓発研修会は牧園祐也氏のご自分の経験談を交えて性に関する差別についての講話がありました。性とは多様化するものであり男性・女性の二つだけに分けて考えるべきではなく、それ以外については個性として理解し差別につながる表現は、慎むべきであるということでした。実際に学校や職場、病院にて様々な障害に遭い孤立感、疎外感、そして自己否定をし、自殺にまで追い込まれる事例もあるようです。先生からの「豊かさとは何ですか?」という質問の答えが大変印象に残りました。何事においても多様であること、そしてそれを選択できることが心の豊かさにつながる。私たちの地域においても性に限らず様々な障害に悩んでいらつしやる方も少なくはないかと思えます。こうあるべきと決めつけるのではなく、個性として理解し合える環境づくりが大切であると感じました。

(10月19日 生涯学習センター)

美しが丘北公民館長

角田 和馬



2016/10/19

編集後記

皆さまのご協力により11号を発行することが出来ました。感謝申し上げます。もつと、写真を掲載して視覚で感じられる「市公連だより」になったらいいなと思つています。又、お知らせしたい記事・写真等がありましたらご連絡ください。

広報編集委員

杉塚公民館長

萩尾 土郎